**JST ベルモント・フォーラム共同研究公募 日本側応募申請書**

**「Systems of Sustainable Consumption and Production（持続可能な消費と生産のシステム）」**

**１．課題名**

*※日本語課題名はe-Radでの入力と同一。英語課題名は相手側研究代表者の申請登録内容と同一。*

　日本語：

　英　語：

　略称（Acronym）：

**２-１．日本側研究代表者**

*※ 所属・役職は正式名称であることを確認。*

　日本語：　科学 太郎

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Taro KAGAKU

　英　語：　役職 部署名 組織名

　届け先住所：　〒

**２-２．相手側研究代表者**

*※ 日本語表記は日本側研究代表者が作成のうえ必要に応じて相手側研究代表者へ確認。*

　日本語：　ジョー・サイエンス

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Joe SCIENCE

　英　語：　役職 部署名 組織名

**３．課題説明文**

　*※ 日本語は****１文****、英語は****２文以内****で研究の対象と意義をまとめる。*

　日本語：　本研究は、・・について・・することで・・を目指すものです。

　英　語：

**４．課題概要**

　*※ 日本語は****３５０字以内****、英語は****１０００字または１５０単語以内****でまとめる。非専門家でも読解可能な表現とし、図表を用いても構わない。*

　日本語：

　本研究は、・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・を行い、相手側チームは・・を行う。両国チームによる共同研究を通して・・が期待される。

　英　語：

＜以下は日本語のみ＞

**５-１．共同研究の背景**

*※ １００文字以内で、提案の社会的背景と学術的背景を含める。*

**５-２．共同研究の目的**

*※ １２０文字以内で、研究成果から将来もたされうる社会課題や人間生活へのインパクトを含める。*

**５-３．共同研究の達成目標**

*※ １２０文字以内で、既存研究・技術などベンチマークとなる****定量指標との比較を図示****する。*

*※ ５-２の目的に照らして本研究で達成を目指す目標の位置づけを示す。*

**５-４．共同研究とする意義**

*※ 日本側と相手国側の強みを具体的に示すとともにそれらの相乗効果を説明する。*

*※ 両国各１２０字以内、相乗効果１２０字以内、合計３６０字以内＋図表（任意）*

**６．他制度での助成等の有無**

【注意事項】

・研究代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度(戦略的国際共同研究プログラムSICORPを含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。日本側応募者への応募にあたっての注意事項「第 4 章 応募に際しての注意事項」もご参照ください。

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・本提案課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体、総額)が多い順に記入してください。

・必要に応じて行を増減してください。

## 研究代表者：　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2023年度 予定)****(3) 〃 (2022年度 予定)****(4) 〃 (2021年度 実績)** | **2022****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | ベルモント・フォーラム（持続可能な消費と生産のシステム）域 | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2023.01－2026.xx | 代表 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  |  |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

## 主たる共同研究者（１）：　　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2023年度 予定)****(3) 〃 (2022年度 予定)****(4) 〃 (2021年度 実績)** | **2022****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | ベルモント・フォーラム（持続可能な消費と生産のシステム） | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2023.01－2026.xx | 分担 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  |  |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

## 主たる共同研究者（２）：　　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2023年度 予定)****(3) 〃 (2022年度 予定)****(4) 〃 (2021年度 実績)** | **2022****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | ベルモント・フォーラム（持続可能な消費と生産のシステム） | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2023.01－2026.xx | 分担 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  |  |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

**７．備考欄**

*※ 「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」の第2章「公募・選考における利益相反マネジメントの実施」の(2)PIの利益相反マネジメント、(3)JSTの利益相反マネジメント）を参照の上、「PIに関係する機関」を参画機関とする場合、もしくはJSTの出資先企業を参画機関とする場合には、この欄に申告。*

*※ e-Radの研究目的欄へは5-2の内容を、研究概要欄へは4の内容を転記してください。*

**研究代表者　記入用チェックリスト**

※法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、提案内容に照らして各項目の該当／非該当を選択してください。該当する場合は「□」を「■」と記載してください。（複数選択可）

「その他」に該当する場合、内容を具体的に記載してください。

|  |
| --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応** |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料、装置や情報を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である□　リスト規制、キャッチオール規制に該当しない□　リスト規制に該当し、適切に輸出措置を行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　キャッチオール規制に該当し、適切に輸出措置を行う（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 遺伝資源を含む試料等を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である日本国内で遺伝子組換え生物等を用いる際の規制措置に該当する□　カルタヘナ法を遵守し、各種申請を適切に行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　名古屋議定書の国内措置であるABS指針に従う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （３）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」 | 個人情報を伴う調査・研究等を実施する予定である□　個人情報保護に関する法律を遵守する　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （４）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料や装置、研究情報や結果を相手国・地域と共有する予定である□　国際共同研究契約を締結する□　秘密保持契約を締結する□　物質移動合意書を締結する□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （５）・生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究・人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究・社会的・倫理的配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  [□該　当] | （　　　　　*該当する場合、研究内容および対策への取り組み**について具体的に記載ください*） |

**上記のとおり相違ありません。**

20XX年　　月　　日

（所属機関名）

（所属部署）　　　　　　　　　（役職名）

（氏名）

安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催し承認を得る旨の確認書を、申請書とともにJSTに提出してください。やむをえない事情などにより、確認書の提出が公募締切に間に合わないと見込まれる場合は、事前にbelmont@jst.go.jpまでお問い合わせください。

令和　　年　　月　　日

**確認書**

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

 　　 （研究代表機関）

 　 機関名

 　 機関長名 　　　 公印

ベルモント・フォーラム事業に提案する下記の研究提案が採択された場合、研究実施にあたり、安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催して承認を得ることを研究機関の責任として確認します。またそれらのための適正な管理を行う環境や体制を整えます。

記

○提案課題名　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究代表者　　　　　所属部署

役　　職

氏　　名